



あし さと
葦の里
賢く 優しく たくましく

No.21

嬉野市立吉田中学校
令和5年1月17日
文責：校長 桑原智仁

～地域とともに9カ年の学びのなかで～

あけましておめでとうございます！

令和5年も穏やかな日の出とともに始まりました。今年うさぎ年。うさぎ年は、「飛躍」「向上」の年と言われています。うさぎのように大きく跳ねて、飛躍する一年になるよう皆さんと共に頑張りたいと思います。

1月10日から学校が始まりました。新型コロナウイルス感染症にインフルエンザも流行している報道がなされており注意が必要ですが、子供たちは元気に登校しています。とはいえ、どんなに気を付けていても、どこからともなく感染は広がっており、新型コロナウイルスの影響を受けている人も見られます。回復を待ちながら、温かい雰囲気に対応していきたいと考えています。

3年生は、いよいよ自分の希望する進路に向けてラストスパートをする時期です。

2年生は、生徒会活動を引き継ぎ、学校の中心となって引っ張る責任があります。

1年生は、4月には先輩になります。そのために残された準備期間は73日です。

みんなで力を合わせて頑張りましょう。



吉田中HP・QRコード



生徒総会がありました。

1月23日（金）に予定していた生徒総会でしたが、雪による臨時休業となったため1月11日（水）に延期して実施しました。

会では、旧生徒会役員（3年生）が一年間の総括を行い、活動報告が承認され、任期を終えました。生徒会長を中心に「活気あふれる学校づくり」をテーマに様々な活動に取り組んできた旧生徒会は、新入生歓迎会や全校レクなどこれまで行われてきた行事に工夫を加え、誰もが楽しめる、活気あふれる活動を創造してくれました。「学校全体としてもう少し発言が活発になれば」という課題を次期生徒会に託しました。

旧生徒会退任の後、新生徒会長の早瀬太陽さんに任命書を渡し、新生徒会が発足しました。生徒会長から各委員長との紹介があり、活動方針や年間計画について協議しました。

新生徒会の活動方針は、「生徒全員が自主性を持ち、人前に立つことができる学校」です。そのために、人前で話す機会を多く作ったり、自学コンテストを実施したりするなど、発信力の向上と学習面の向上にも力を入れようという思いが込められた提案となりました。

生徒会本部からの提案の後、各専門委員会から年間計画の説明がありました。協議では、議案書をしっかり読み込んできた3年生から鋭い指摘やより良い方法の提案など、厳しく温かい質問や意見が飛び交いました。各委員長も必死になって答弁する姿がとても頼もしく感じられました。熱心な協議の後、活動方針や活動内容が承認されました。全校一丸となって、目標に向かって頑張ってくれることと期待しています。



2023年 新生徒会役員



質問者と 答弁する生徒会長・副会長

ようこそパトリアさん



1月16日（月）午後、嬉野町にお住まいの古川パトリアさんをゲストティーチャーとしてお招きし、1・2年生の英語の時間に交流を行いました。

エクアドル出身のパトリアさんは、嬉野に住んで20年以上のことですが、文化の違いに戸惑いと興味を感じていて、ぜひ中学生にも文化の違いを紹介したいということでした。

エクアドルは、ご存知のとおり、赤道直下の国です。パトリアさんは首都キトの出身で、キトの中心街から車で20分ほどのところにある赤道のモニュメントやエクアドルで一番高い山であるチンボラソ山（6310m）やガラパゴス諸島などを紹介してもらいました。ガラパゴス諸島を知らない生徒が多かったことは意外であり驚きでした。



キトはアンデス山脈の中腹に位置し、標高2800mぐらい

だそうです。季節は夏と冬の2つしかなく、冬でも最低気温が8℃くらいで最高気温は20℃くらいと聞き、季節が2つしかないことに生徒たちは興味深そうでした。「エクアドルで有名な料理は何ですか?」「盛んなスポーツは何ですか?」など生徒から英語で質問し、さらに理解を深めていました。授業の終盤には、簡単なスペイン語のあいさつを覚えてもらい、授業の終わりには、「Muchas gracias（ムーチャス・グラシアス）」「Adios（アディオス）」とスペイン語であいさつをしました。

コロナ禍の中、外国の方と交流する機会がなかなか少なくなっていますが、英語圏以外の方との交流を通して、外国語を学ぶことの意義、コミュニケーションの大切さを感じてくれたらと思っています。

3年生の声 掲載中

佐賀新聞の読者の声の欄「ひろば」の中の「わかもの」のコーナーに吉田中3年生の「声」が土曜日から連続して掲載されています。社会科の授業で学習したことを基に「嬉野市の現状と課題、将来への展望」などについて、中学3年生の視点で書かれた様々な意見が寄せられています。

街づくりはともすれば一部の大人の都合で進んで行きがちですが、大人には見えない視点を中学生が持っていることが分かります。若者にとって魅力ある街、若者が集う街は賑わいがあり、発展性もあると思います。こうした意見を持ち、自身も街づくりに関わりたいと考えている若者が集えるような場づくりが大切であり、「若者に継がせる」という感覚ではなく、「若者に託す」という感覚が大人には必要なのかも知れません。

明後日1月19日（木）は県内私立高校前期試験です。

いよいよ受験シーズンが到来しました。明後日は、県内私立高校前期試験です。本校生徒はこれが最初の受験となります。コンディションを整え、これまで培ってきた力を十分に発揮してほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症に加えてインフルエンザも流行している厳しい状況下での受験となります。感染症予防対策を十分に行って乗り切ってほしいと思います。

1・2年生は、他人事ではなく、来年、再来年の自分をイメージしながら、こういう日がやってくるという覚悟を持ってほしいところです。新聞に掲載される高校入試問題や大学入試問題にも関心を持つことが今後の自分に必ず役に立つと思います。



1月後半の主な予定

17(火)読み語り、全校スピーチ
放課後学習会（3年・英語）

19(木)※県内私立高校：推薦・前期一般入試
フッ化物洗口

20(金)生徒会専門委員会

24(火)※県内私立高校：推薦・前期合格発表

25(水)お茶のいれ方教室（2年）

26(木)ドリームハンズ職業体験（1年）

フッ化物洗口、放課後学習会（3年・数学）

31(火)放課後学習会（3年・英語）